

PlateSpin® 12.2.2 Migrate インストールおよびアップグレードガイド

2018年4月

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.microfocus.com/about/legal/> を参照してください。

Copyright © 2018 NetIQ Corporation, a Micro Focus Company. All rights reserved.

ライセンスの許諾

PlateSpin Migrate 9.3 以降のバージョン用に購入したライセンスを PlateSpin Migrate 9.2 以前のバージョン用に使用することはできません。

目次

このガイドについて	5
1 PlateSpin Migrate のインストール	7
1.1 PlateSpin Migrate をインストールするための準備	7
1.1.1 PlateSpin Server のシステム要件	7
1.1.2 PlateSpin Migrate Client のシステム要件	9
1.1.3 PlateSpin Migrate Web インタフェースのシステム要件	10
1.1.4 サーバのインストールための一般的なガイドライン	10
1.1.5 National Language Support	12
1.2 前提条件のソフトウェアのインストール	12
1.2.1 PlateSpin Migrate バッチファイルインストール用の Visual C++ 2013 のインストール	13
1.2.2 Windows Server 2016 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール	14
1.2.3 Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール	16
1.2.4 FIPS 準拠データ暗号化アルゴリズムのサポートの有効化 (オプション)	19
1.3 PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール	20
1.3.1 PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始	20
1.3.2 データベースサーバのインストール	22
1.3.3 PlateSpin Server のインストール	27
1.3.4 PlateSpin Migrate Client のインストール	30
1.4 バッチファイルを使用した PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール	31
1.5 ソフトウェアアップデートの確認	32
1.6 SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更	33
1.7 PlateSpin ホストのセキュリティベストプラクティス	34
2 インストールの問題のトラブルシューティング	35
2.1 一般的なインストールの問題および解決法	35
2.2 インストールのトラブルシューティングに関するナレッジベースの記事	36
2.3 PlateSpin ソフトウェアの削除	36
3 PlateSpin Migrate のアップグレード	39
3.1 アップグレードのための前提条件	39
3.2 アップグレードの準備	41
3.2.1 ターゲットクラウドコンテナの有効な資格情報の確認	42
3.2.2 アップグレードの前のデータベースファイルのバックアップ	42
3.2.3 アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ	42
3.3 Migrate のアップグレード	43
3.4 新しいホストプラットフォームへのアップグレード	44
3.4.1 新しいプラットフォームへのアップグレード準備	44
3.4.2 データベースのエクスポート	45
3.4.3 現在の PlateSpin サーバホストで使用しているプラットフォームのアップグレード	46
3.4.4 置換用 PlateSpin Server ホストへのアップグレード	47
3.4.5 データベースのインポート	49
3.5 アップグレード後のタスク	49

このガイドについて

このガイドは、PlateSpin Migrate 製品をインストールするための情報を提供します。

- ◆ 7 ページの第 1 章「PlateSpin Migrate のインストール」
- ◆ 35 ページの第 2 章「インストールの問題のトラブルシューティング」
- ◆ 39 ページの第 3 章「PlateSpin Migrate のアップグレード」

対象読者

このガイドは、進行中のワークロードマイグレーションプロジェクトで PlateSpin Migrate を使用するデータセンター管理者およびオペレータなどの IT スタッフを対象としています。

その他のマニュアル

このガイドは、PlateSpin Migrate マニュアルセットの一部です。このリリースをサポートする出版物の一覧表については、[PlateSpin Migrate 12.2.2 マニュアルの Web サイト \(https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-2/\)](https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-2/) をご覧ください。

マニュアルの更新

このガイドの最新バージョンは、[PlateSpin Migrate マニュアルの Web サイト \(https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-2/\)](https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-2/) から入手できます。

Micro Focus への連絡方法

特定の製品の問題については <https://www.microfocus.com/support-and-services/> にある、Micro Focus サポートに連絡してください。

追加のテクニカル情報またはアドバイスについては、次の複数のソースを参照してください。

- ◆ 製品ドキュメント、ナレッジベース記事およびビデオ：<https://www.microfocus.com/support-and-services/>
- ◆ Micro Focus コミュニティページ：<https://www.microfocus.com/communities/>

マニュアルサポートへのお問い合わせ

弊社の目標は、お客様のニーズを満たすマニュアルの提供です。マニュアル向上のためのご意見は、電子メールで Documentation-Feedback@netiq.com までお寄せください。貴重なご意見をぜひお寄せください。

1 PlateSpin Migrate のインストール

PlateSpin Migrate は、サーバオペレーティングシステム上で実行される Windows アプリケーションです。その機能は、Microsoft Internet Information Services (IIS) Web サーバソフトウェアとその機能拡張モジュール、ASP.NET Web アプリケーションフレームワーク、Microsoft .NET Framework ライブラリとランタイム、および専用の Microsoft SQL Server データベースインスタンスなど、いくつかのソフトウェアコンポーネントに依存します。

- 7 ページのセクション 1.1 「PlateSpin Migrate をインストールするための準備」
- 12 ページのセクション 1.2 「前提条件のソフトウェアのインストール」
- 20 ページのセクション 1.3 「PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール」
- 31 ページのセクション 1.4 「バッチファイルを使用した PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール」
- 32 ページのセクション 1.5 「ソフトウェアアップデートの確認」
- 33 ページのセクション 1.6 「SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更」
- 34 ページのセクション 1.7 「PlateSpin ホストのセキュリティベストプラクティス」

1.1 PlateSpin Migrate をインストールするための準備

PlateSpin Migrate のインストールおよび操作のトラブルを回避するには、システム要件を確認し、インストール計画を立てる必要があります。

- 7 ページのセクション 1.1.1 「PlateSpin Server のシステム要件」
- 9 ページのセクション 1.1.2 「PlateSpin Migrate Client のシステム要件」
- 10 ページのセクション 1.1.3 「PlateSpin Migrate Web インタフェースのシステム要件」
- 10 ページのセクション 1.1.4 「サーバのインストールための一般的なガイドライン」
- 12 ページのセクション 1.1.5 「National Language Support」

1.1.1 PlateSpin Server のシステム要件

PlateSpin Server ホストは、表 1-1 にあるシステム要件を満たす必要があります。10 ページの「サーバのインストールための一般的なガイドライン」も参照してください。

表 1-1 PlateSpin Server のホスト要件

要件	詳細
専用のホスト	物理サーバまたは仮想サーバ

要件	詳細
オペレーティングシステム	<p>次の Windows Server バージョンのいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows Server 2016 ◆ Windows Server 2012 R2 <p>注: PlateSpin Migrate をインストールする前に Windows オペレーティングシステムの Microsoft ライセンスを有効にする必要があります。</p>
プロセッサ	<p>推奨 (物理): マルチコア、2GHz 以上</p> <p>推奨 (VM): 2 つ以上の仮想 CPU</p>
メモリ	<p>推奨: 8 GB RAM</p>
ディスク容量	<p>最低 50GB</p> <p>同じシステムを PlateSpin Image Server として使用する場合は、追加のディスク容量が必要です。追加のディスク容量は、対象となるイメージサーバに保存しようとするワークロードイメージの数およびサイズに依存します。 『PlateSpin Migrate 12.2.2 のユーザガイド』の「PlateSpin Image Server の指定」を参照してください。</p>
データベースサーバ	<p>次のいずれかで動作する専用の Microsoft SQL Server データベースインスタンス (ローカルまたはリモート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Microsoft SQL Server 2017 Express Edition <p>このデータベースソフトウェアは、PlateSpin Migrate ソフトウェアの配布パッケージに付属しています。</p> <p>注: PlateSpin Migrate Server のアップグレードについては、既にインストールしている Microsoft SQL Server 2014 Express がサポートされません。SQL Server Express ソフトウェアはこのアップグレードによりアップデートされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Microsoft SQL Server 2016 ◆ Microsoft SQL Server 2014 ◆ Microsoft SQL Server 2008 R2 <p>複数の PlateSpin Migrate Server で同じリモートデータベースサーバを使用できますが、各 Migrate Server では個別の専用データベースインスタンスが必要です。</p> <p>注: この製品をインストールする前に、既存の SQL Server データベースサーバと指定のデータベースインスタンスが、「データベース」にあるガイドラインを満足していることを確認します。</p>

要件	詳細
必須ソフトウェア	<p>注: 事前にインストールしておく必要があるソフトウェアを手動でインストールするか、または PlateSpin Migrate ダウンロードサイトで提供される PowerShell スクリプトを使用することができます。詳細については、12 ページの「前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> PlateSpin Migrate のバッチファイルインストールを実行するには、ホストサーバ上に Visual C++ 2013 をインストールする必要があります。詳細については、13 ページの「PlateSpin Migrate バッチファイルインストール用の Visual C++ 2013 のインストール」を参照してください。 <input type="checkbox"/> すべての Windows ホスト (推奨) <ul style="list-style-type: none"> ◆ ライセンス済みバージョンの OS がインストールされていて、ライセンスが有効になっていることを確認します。 ◆ 最新の適用可能な OS 更新プログラム (サービスパック、累積的なセキュリティ更新プログラム、ドライバなど) を適用します。 <input type="checkbox"/> Windows Server 2016 システムの場合 : <ul style="list-style-type: none"> ◆ ユーザアカウント制御 (UAC) を無効にします。 ◆ Microsoft .NET Framework 4.7.1 をインストールします。.NET ソフトウェアは以下の Microsoft のサイトからダウンロードできます。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 4.7.1 ◆ Microsoft IIS 10.0 をインストールします。 <p>詳細については、14 ページの「Windows Server 2016 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。</p> <input type="checkbox"/> Windows Server 2012 R2 システムの場合 : <ul style="list-style-type: none"> ◆ ユーザアカウント制御 (UAC) を無効にします。 ◆ Microsoft .NET Framework 4.7.1 をインストールします。.NET ソフトウェアは以下の Microsoft のサイトからダウンロードできます。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 4.7.1 ◆ Microsoft IIS 8.0 をインストールします。 <p>詳細については、16 ページの「Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。</p>

1.1.2 PlateSpin Migrate Client のシステム要件

PlateSpin Server ホストまたは別のコンピュータに PlateSpin Migrate Client をインストールできます。Migrate Client がサポートするマイグレーションタスクの詳細については、『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[マイグレーションインタフェースの決定](#)」を参照してください。

スタンドアロン PlateSpin Migrate Client ホストは、[表 1-2](#)にあるシステム要件を満たす必要があります。

表 1-2 PlateSpin Migrate Client のホスト要件

要件	詳細
オペレーティングシステム	<p>専用のハードウェア上で、または仮想マシンで実行する以下のいずれかが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows Server 2016 ◆ Windows 8.1、8 ◆ Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 ◆ Windows 7 ◆ Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 <p>注：PlateSpin Migrate Client をインストールする前に Windows オペレーティングシステムの Microsoft ライセンスを有効にする必要があります。</p>
ディスク容量	最低 3GB
Windows ソフトウェアコンポーネント	<p>Microsoft .NET Framework 2 SP2、3.5 SP1、4.7.1。 .NET ソフトウェアは以下の Microsoft のサイトからダウンロードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 2 SP2 ◆ .NET Framework 3.5 SP1 ◆ .NET Framework 4.7.1

1.1.3 PlateSpin Migrate Web インタフェースのシステム要件

PlateSpin Migrate は Web インタフェースを備えており、このインタフェースを使用してワークロードの自動マイグレーションを計画および実行できます。PlateSpin Migrate Web インタフェースは PlateSpin Migrate Server のインストール時に自動的にインストールされます。Migrate Web インタフェースがサポートするマイグレーションタスクの詳細については、『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[マイグレーションインタフェースの決定](#)」を参照してください。

サポートされている Web ブラウザおよびブラウザ設定要件の詳細については、『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[サポートされる Web ブラウザ](#)」を参照してください。

PlateSpin Migrate Web インタフェースの使用の詳細については、『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[PlateSpin Migrate Web インタフェースについて](#)」を参照してください。

1.1.4 サーバのインストールための一般的なガイドライン

PlateSpin Migrate のインストールおよび操作のトラブルを回避するには、[表 1-3](#) のインストールのガイドラインに従ってください。

表 1-3 インストール前のチェックリスト

ガイドライン	備考
<input type="checkbox"/> 専用のホスト	PlateSpin Server を専用の物理マシンまたは仮想マシンにインストールします。「 コロケーション 」も参照してください。

ガイドライン	備考
<input type="checkbox"/> 資格情報	<p>管理権限を持つアカウントを使用してすべてのインストール手順を実行します。</p> <p>ドメインコンピュータ上に PlateSpin Migrate Server をインストールする場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてインストール、削除、またはアップグレード時に PlateSpin Server にログインする必要があります。</p> <p>Microsoft SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition のデータベースサーバの Windows 認証はドメイン環境でサポートされています。データベースサーバに対して Windows 認証を使用する場合、PlateSpin Migrate Server のインストールまたはアップグレードを実行する際に、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとして PlateSpin Server にログインする必要があります。このユーザは PlateSpin Server へのローカル管理者の権利も必要とします。また、SQL Server 資格情報で指定したサービスユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。</p>
<input type="checkbox"/> IP アドレス	<p>PlateSpin Server ホストを静的な IP アドレスに割り当てます。</p>
<input type="checkbox"/> コロケーション	<p>PlateSpin Server を次のものと一緒に使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ドメインコントローラ ◆ IIS アプリケーションをインストールした既存の Web サーバ ◆ 製品を使用して移行しようとしているワークロード ◆ 他の PlateSpin ソフトウェア (PlateSpin Protect および PlateSpin Recon)
<input type="checkbox"/> データベース	<p>PlateSpin Migrate に付属する Microsoft SQL Server Express Edition は、Microsoft Developer Network にある 推奨事項 に従い、ドメインコントローラにはインストールできません。</p> <p>(ソフトウェア配布に含まれている Microsoft SQL Server 2017 Express Edition ではなく) 独自の Microsoft SQL Server データベースを使用する場合は、それが サポートされていること、および製品のデータベース要件を満たしていることを確認してください。「SQL Server Installation Requirements for Platespin Protect and Migrate」(ナレッジベースの記事 7009809) を参照してください。</p> <p>複数の PlateSpin Migrate Server で同じリモートデータベースサーバを使用できますが、各 Migrate Server では個別のデータベースインスタンスが必要です。</p> <p>運用ニーズに基づく展開ガイドラインについては、『PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド』の「データベースサーバ」を参照してください。</p> <p>製品のインストールを試みる前に、Migrate Server 用のデータベースサーバおよびデータベースインスタンスが使用可能で、PlateSpin Migrate と連携できるように設定されている必要があります。詳細については、22 ページの「データベースサーバのインストール」を参照してください。</p>
<input type="checkbox"/> UAC	<p>インストール、削除、またはアップグレードの際は、ユーザアカウント制御 (UAC) を無効にします。</p>

ガイドライン	備考
□ インストールワークフロー	<p>前提条件のソフトウェアを次の順番でインストールします。一般的な PlateSpin Migrate インストールのワークフローの概要は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サポートされているオペレーティングシステム (対応する Windows 更新プログラム適用済み) 2. ASP.NET/IIS (対応する Windows 更新プログラムに先行) 3. (オプション) FIPS 対応のデータ暗号化を有効にする 4. SQL Server データベース (該当する Microsoft 更新プログラムに先行) 5. PlateSpin Server 6. (マイグレーション目標に基づき条件に応じて実行) PlateSpin Migrate Client

1.1.5 National Language Support

PlateSpin Migrate には、英語バージョンのほか、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)、フランス語、ドイツ語、および日本語を設定したマシンにインストールして使用できるようにローカライズしたバージョンが用意されています。『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[国際バージョンの言語設定の環境を設定する](#)」を参照してください。

ドキュメントはこれらの言語のほか、スペイン語およびポルトガル語 (ブラジル) でも入手できます。

1.2 前提条件のソフトウェアのインストール

PlateSpin Migrate をインストールする前に、[必須ソフトウェア](#) : Visual C++、ASP.NET、IIS、および .NET Framework をインストールしていることを確認します。NetIQ ダウンロードサイトで提供される「PlateSpin Migrate 前提条件のインストール」スクリプトを使用して、不足しているソフトウェアをインストールし、適切な設定を適用することができます。または、このセクションの手順を使用して、前提条件のソフトウェアを手動でインストールすることができます。

スクリプトを使用して、前提条件ソフトウェアをインストールするには：

- 1 PlateSpin Migrate サーバとして使用予定のマシンに、サポートされているバージョンの Microsoft Windows Server をインストールし、Windows ライセンスを有効にします。
- 2 [Micro Focus のダウンロードページ](#)に移動し、適切な PlateSpin Migrate ダウンロードページに移動します。
- 3 Install_PlateSpin_Migrate_Prerequisites.zip ファイルをダウンロードします。
- 4 ファイルを目的の PlateSpin Migrate ホストサーバに抽出します。

Install PlateSpin Migrate Prerequisites.ps1

Install PlateSpin Migrate Prerequisites.bat

readme.txt

PowerShell 実行ポリシーの [\[RemoteSigned\]](#) への変更をユーザに求めずに、BAT ファイルはスクリプトを実行します。

- 5 PowerShell スクリプトを実行します。

スクリプトにより、前提条件ソフトウェアが自動的にインストールされて設定されます。

6 20 ページの「[PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール](#)」に進みます。

前提条件ソフトウェアを手動でインストールするには：

注：ソフトウェアコンポーネントのパッケージ化および配布は、サポートされている Windows Server プラットフォームのさまざまなバージョンで異なるため、手順も多少異なります。インストールおよびセットアップの指定された順序で、ターゲットプラットフォームの適切な手順を使用します。

1 PlateSpin Migrate サーバとして使用予定のマシンに、サポートされているバージョンの Microsoft Windows Server をインストールし、Windows ライセンスを有効にします。

2 Visual C++ をインストールします。

詳細については、「[PlateSpin Migrate バッチファイルインストール用の Visual C++ 2013 のインストール](#)」を参照してください。

3 Windows Server コンポーネント ASP .NET、IIS、および .NET Framework をインストールします。

- ◆ [Windows Server 2016 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール](#)

- または -

- ◆ [Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール](#)

4 (オプション) FIPS 対応のデータ暗号化を有効にします。

詳細については、「[FIPS 準拠データ暗号化アルゴリズムのサポートの有効化 \(オプション\)](#)」を参照してください。

5 20 ページの「[PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール](#)」に進みます。

1.2.1 PlateSpin Migrate バッチファイルインストール用の Visual C++ 2013 のインストール

PlateSpin Migrate サーバのバッチファイルインストールを実行する前に、予定している Migrate サーバ上に Visual C++ 2013 をインストールする必要があります。このソフトウェアは、PlateSpin Transformation Manager によって使用されるイベントメッセージングサービスを適切にインストールするために必要です。Visual C++ 2013 の再配布可能パッケージは、PlateSpinMigrateSetup-12.2.2.X.exe ファイルで入手できます。または、Microsoft から Visual C++ 2013 パッケージをダウンロードしてインストールすることもできます。

予定している Migrate サーバ上に VC++ 2013 をインストールするには：

1 PlateSpin Migrate の予定しているサーバホスト上の特定の場所に、PlateSpinMigrateSetup-12.2.2.X.exe を抽出します。

2 ファイルブラウザで、\Migrate-12.2.2.X\PlateSpinImage\VCruntime-x64 フォルダに移動します。

3 管理者として vcredist_x64.exe を実行します。

1.2.2 Windows Server 2016 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール

次の手順に従って、PlateSpin Migrate Server のインストール先である Microsoft Windows Server 2016 サーバに**前提条件のソフトウェア**をインストールします。インストールを開始する前に、7 ページの「PlateSpin Server のシステム要件」および 10 ページの「サーバのインストールための一般的なガイドライン」に精通していることを確認してください。

必要な Microsoft ソフトウェアコンポーネントをインストールするには：

- 1 ローカルユーザ管理者 (LUA) アカウントを使用して目的の PlateSpin Server ホストにログインします。
- 2 サーバマネージャを使用して、Web Server (IIS) および PlateSpin Server が必要とするその他のソフトウェアをインストールしてください。
 - 2a サーバマネージャを開きます。[スタート] > [Windows 管理ツール] > [サーバマネージャ] の順に選択します。
 - 2b サーバマネージャツールバーで、[クイックスタート] > [このローカルサーバの構成] > [役割と機能の追加] の順に選択します。
 - 2c [Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザードで [インストールのタイプ] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
1. インストールのタイプ	[Role-based or feature-based installation (役割ベースまたは機能ベースのインストール)] を選択し、[次へ] をクリックします。
2. サーバの選択	目的の PlateSpin Server ホストを選択し、[次へ] をクリックします。
3. サーバの役割	[Web Server (IIS)] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. [Add features that are required for Web Server (IIS) (Web Server (IIS) で必要な機能の追加)] のポップアッププロンプト	[管理ツールを含める] を選択し、[機能の追加] をクリックして選択内容を確認してから、[サーバの役割] ページで [次へ] をクリックして、機能リストに進みます。
5. 機能	Web Server の機能のデフォルトセットをそのまま保持し、次に示すその他の必要な機能をそのサブ機能とともに追加して、[次へ] をクリックします。 <input type="checkbox"/> .NET Framework 4.6 機能 (3/7 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 4.6 ◆ ASP.NET 4.6 ◆ WCF サービス (1/5 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — TCP ポート共有 <input type="checkbox"/> XPS ビューア
6. Web Server (IIS)	情報を読み、[次へ] をクリックします。

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
7. 役割サービス	<p>Web Server のデフォルトの役割サービスセットはそのまま保持し、次に示すその他の必要な役割サービスをそのサブ役割サービスとともに追加して、[次へ] をクリックします。</p> <p>注：.NET 4.6 は OS によってインストールされます。PlateSpin Server は、ステップ 2f でインストールする .NET 4.7.1 を使用します。</p> <p>[Web Server (IIS)] > [役割サービス] (23/43 個をインストール済み):</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Web サーバ (17/34 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ HTTP 基本機能 (4/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 既定のドキュメント — ディレクトリの参照 — HTTP エラー — 静的なコンテンツ ◆ 状態と診断 (2/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — HTTP ログ — 要求の監視 ◆ パフォーマンス (1/2 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 静的なコンテンツの圧縮 ◆ セキュリティ (5/9 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 要求フィルタ — 基本認証 — IP およびドメインの制限 — URL 承認 — Windows 認証 ◆ アプリケーション開発 (5/11 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — .NET 拡張性 4.6 — アプリケーションの初期化 — ASP.NET 4.6 — ISAPI 拡張 — ISAPI フィルタ <input type="checkbox"/> 管理ツール (6/7 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ IIS 管理コンソール ◆ IIS 6 管理互換 (4/4 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — IIS 6 メタベース互換 — IIS 6 管理コンソール — IIS 6 スクリプトツール — IIS 6 WMI 互換 ◆ IIS 管理スクリプトおよびツール
8. 確認	インストールする役割、役割サービス、機能を確認し、 [インストール] をクリックします。

- 2d インストールが完了するまで待機した後、[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザードを閉じます。
- 2e サーバマネージャを終了します。
- 2f 目的の PlateSpin Server ホストに [Microsoft .NET Framework 4.7.1 \(https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=56116\)](https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=56116) をダウンロードしてインストールします。

1.2.3 Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール

次の手順に従って、PlateSpin Migrate Server のインストール先である Microsoft Windows Server 2012 R2 サーバに**前提条件のソフトウェア**をインストールします。インストールを開始する前に、[7 ページの「PlateSpin Server のシステム要件」](#)および[10 ページの「サーバのインストールための一般的なガイドライン」](#)に精通していることを確認してください。

必要な Microsoft ソフトウェアコンポーネントをインストールするには：

- 1 ローカルユーザ管理者 (LUA) アカウントを使用して目的の PlateSpin Server ホストにログインします。
- 2 サーバマネージャを使用して、Web Server (IIS) および PlateSpin Server が必要とするその他のソフトウェアをインストールしてください。
 - 2a サーバマネージャを開きます。[スタート] > [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [Server Manager (サーバマネージャ)] の順に選択します。
 - 2b サーバマネージャのツールバーで、[Manage (管理)] > [Add Roles and Features (役割と機能の追加)] の順に選択します。
 - 2c [Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザードで [インストールのタイプ] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
1. インストールのタイプ	[Role-based or feature-based installation (役割ベースまたは機能ベースのインストール)] を選択し、[次へ] をクリックします。
2. サーバの選択	目的の PlateSpin Server ホストを選択し、[次へ] をクリックします。
3. サーバの役割	[Web Server (IIS)] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. [Add features that are required for Web Server (IIS) (Web Server (IIS) で必要な機能の追加)] のポップアッププロンプト	[管理ツールを含める] を選択し、[機能の追加] をクリックして選択内容を確認してから、[サーバの役割] ページで [次へ] をクリックして、機能リストに進みます。

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
5. 機能	<p>Web Server の機能のデフォルトセットをそのまま保持し、次に示すその他の必要な機能をそのサブ機能とともに追加して、[次へ] をクリックします。</p> <p>注：.NET 4.5 は OS によってインストールされます。PlateSpin Server は、ステップ 2f でインストールする .NET 4.7.1 を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> .NET Framework 4.5 機能 (3/7 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 4.5 ◆ ASP.NET 4.5 ◆ WCF サービス (1/5 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — TCP ポート共有 <input type="checkbox"/> XPS ビューア
6. Web Server (IIS)	<p>情報を読み、[次へ] をクリックします。</p>

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
7. 役割サービス	<p>Web Server のデフォルトの役割サービスセットはそのまま保持し、次に示すその他の必要な役割サービスをそのサブ役割サービスとともに追加して、[次へ] をクリックします。</p> <p>[Web Server (IIS)] > [役割サービス] (23/43 個をインストール済み):</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Web サーバ (17/34 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ HTTP 基本機能 (4/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 既定のドキュメント — ディレクトリの参照 — HTTP エラー — 静的なコンテンツ ◆ 状態と診断 (2/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — HTTP ログ — 要求の監視 ◆ パフォーマンス (1/2 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 静的なコンテンツの圧縮 ◆ セキュリティ (5/9 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 要求フィルタ — 基本認証 — IP およびドメインの制限 — URL 承認 — Windows 認証 ◆ アプリケーション開発 (5/11 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — .NET 拡張性 4.5 — アプリケーションの初期化 — ASP.NET 4.5 — ISAPI 拡張 — ISAPI フィルタ <input type="checkbox"/> 管理ツール (6/7 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ IIS 管理コンソール ◆ IIS 6 管理互換 (4/4 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — IIS 6 メタベース互換 — IIS 6 管理コンソール — IIS 6 スクリプトツール — IIS 6 WMI 互換 ◆ IIS 管理スクリプトおよびツール
8. 確認	インストールする役割、役割サービス、機能を確認し、[インストール] をクリックします。

2d インストールが完了するまで待機した後、[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザードを閉じます。

2e サーバマネージャを終了します。

2f 目的の PlateSpin Server ホストに [Microsoft .NET Framework 4.7.1 \(https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=56116\)](https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=56116) をダウンロードしてインストールします。

1.2.4 FIPS 準拠データ暗号化アルゴリズムのサポートの有効化 (オプション)

PlateSpin Migrate は、FIPS (*Federal Information Processing Standards Publication 140-2*) に準拠するデータ暗号化アルゴリズムをサポートしています。

FIPS に準拠していることが必要である場合、PlateSpin Server をインストールする前に、目的の PlateSpin Server ホスト上で FIPS を有効にする必要があります。これは、ワークロードのオペレーティングシステムが FIPS 準拠モードで実行していることを検出した場合のみ、PlateSpin Migrate が FIPS 準拠モードで実行されるためです。

注: FIPS 準拠モードは、パフォーマンスに影響を及ぼし、データ転送率を最大 30% スローダウンさせる可能性があります。

FIPS 準拠アルゴリズムを有効にする

1 PlateSpin Migrate ホストのローカルセキュリティポリシーのセキュリティオプションに含まれる FIPS 対応アルゴリズムを有効にします。

1a secpol.msc を実行し、[ローカルポリシー] > [セキュリティオプション] を参照します。

1b [システム暗号化: 暗号化に FIPS 対応アルゴリズムを使用] セキュリティオプションを有効にします。

2 FIPS の ASP.NET サポートを設定します。

2a ご使用の PlateSpin Server ホストの次のディレクトリにある machine.config ファイルにアクセスします。

```
..\.Windows\Microsoft.Net\Framework\vX.X.XXXXX\Config
```

2b 次の内容を <system.web> の下に追加します。

```
<machineKey validationKey="AutoGenerate,IsolateApps"
decryptionKey="AutoGenerate,IsolateApps" validation="3DES"
decryption="3DES"/>
```

3 PlateSpin Server ホストの下記に一覧表示されている各ディレクトリにある web.config ファイルにアクセスし、各 web.config ファイルの <system.web> 要素の下に次を追加します。

```
<machineKey validationKey="AutoGenerate,IsolateApps"
decryptionKey="AutoGenerate,IsolateApps" validation="3DES" decryption="3DES"/>
```

- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\PlateSpin Forge\Web\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\Web\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\ConfigurationEditor.Web\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\Protection.WebServices\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\OfxWeb\

1.3 PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール

前提条件のソフトウェアをインストールおよび設定したので、PlateSpin Migrate 用のソフトウェアコンポーネントをインストールおよび設定する準備が整いました。

- 20 ページのセクション 1.3.1 「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」
- 22 ページのセクション 1.3.2 「データベースサーバのインストール」
- 27 ページのセクション 1.3.3 「PlateSpin Server のインストール」
- 30 ページのセクション 1.3.4 「PlateSpin Migrate Client のインストール」

1.3.1 PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始

製品をインストールまたはアップグレードするには、PlateSpin Migrate セットアップユーティリティ (PlateSpinMigrateSetup-12.X.X.X.exe) を使用する必要があります。PlateSpin Migrate セットアップユーティリティは、ファイルを抽出し、Migrate コンポーネントのインストールランチャを開きます。ファイルは、[Micro Focus のダウンロード \(https://www.microfocus.com/support-and-services/download/\)](https://www.microfocus.com/support-and-services/download/) から入手できます。

- 1 [Micro Focus のダウンロード \(https://www.microfocus.com/support-and-services/download/\)](https://www.microfocus.com/support-and-services/download/) から、PlateSpinMigrateSetup-12.X.X.X.exe インストールプログラムを起動します。このファイルを目的の PlateSpin Server ホストのアクセス可能な場所にコピーします。

- 2 PlateSpin Server ホストに管理者の権利を持つユーザとしてログインします。

インストールまたはアップグレードを実行するのに十分な権利でログインする必要があります。10 ページの表 1-3 「インストール前のチェックリスト」の資格情報ガイドラインを参照してください。

- 3 このインストールプログラムを実行し、[次へ] をクリックして前提条件チェックユーティリティを起動します。

PlateSpin Server のインストール先とするホストに、前提条件チェックユーティリティからクエリが発行されます。これにより、必要なソフトウェアがすべてインストール済みで有効になっているかどうかを検証されます。ソフトウェアに関する注意やソフトウェアの不足が報告された場合、インストールを続行するには、その前提ソフトウェアをインストールするか有効にする必要があります。

- 4 [次へ] をクリックして、インストールランチャを開きます。

インストールプログラムによって必要なファイルが抽出され、[Installation Launcher] ウィンドウが開きます。

5 インストールランチャを使用して、次のいずれかを実行します。

インストールランチャのオプション	備考
SQL Server Express のインストール	
<p>PlateSpin Migrate の配布パッケージに含まれている SQL Server Express Edition をインストールします</p>	<p>製品をインストールする前にデータベースサーバが必要です。SQL Server Express、またはローカルまたはリモートにインストールされた独自の Microsoft SQL Server Standard Edition あるいは Enterprise Edition を使用できます。</p> <p>要件については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 8 ページの「データベースサーバ」 ◆ データベースガイドライン <p>インストールおよびデータベースサーバの設定の手順については、22 ページの「データベースサーバのインストール」を参照してください。</p>
PlateSpin Server のインストール	
<p>PlateSpin Server をインストールします</p>	<p>要件およびガイドラインについては、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 7 ページの表 1-1 「PlateSpin Server のホスト要件」 ◆ 10 ページの表 1-3 「インストール前のチェックリスト」 <p>製品をインストールする前に、前提条件となるソフトウェアをインストールおよび設定する必要があります。詳細については、12 ページの「前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。</p> <p>方法については、27 ページの「PlateSpin Server のインストール」を参照してください。</p>
<p>PlateSpin Server をアップグレードします</p>	<p>アップグレードの要件および準備については、39 ページの「アップグレードのための前提条件」を参照してください。</p> <p>製品をアップグレードする前に、サーバがソフトウェアの前提条件を満たしていることを確認します。詳細については、9 ページの「必須ソフトウェア」を参照してください。</p> <p>手順については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 43 ページの「Migrate のアップグレード」 ◆ 44 ページの「新しいホストプラットフォームへのアップグレード」
Install PlateSpin Migrate Client (PlateSpin Migrate Client のインストール)	
<p>PlateSpin Migrate Client をインストールします</p>	<p>詳細については、10 ページの表 1-2 「PlateSpin Migrate Client のホスト要件」を参照してください。</p> <p>方法については、30 ページの「PlateSpin Migrate Client のインストール」を参照してください。</p> <p>アップグレードの場合は、Windows の [プログラムをアンインストールする] を使用して PlateSpin Migrate Client をアンインストールしてから、PlateSpin Migrate Client を再インストールします。</p>

1.3.2 データベースサーバのインストール

製品をインストールする前に、データベースサーバをセットアップしてデータベースインスタンスを設定する必要があります。表 1-4 を参照して、推奨されるデータベースサーバの展開に必要なタスクを判断してください。

表 1-4 PlateSpin Server 用データベースサーバ展開オプション

場所	インストールと環境設定	データベース接続と資格情報
Microsoft SQL Server Express Edition		
ローカル (デフォルト)	目的の PlateSpin Server に SQL Server Express Edition をインストールします。詳細については、23 ページの「 SQL Server Express Edition データベースサーバのインストール 」を参照してください。	データベース接続に関するプロンプトが表示されたら、ローカルデータベースサーバとデータベースインスタンスを受け取ります。 .\PLATESPINDB SQL 認証を使用して、ログイン ID とパスワードの入力後に SQL システム管理者 (sa) ユーザに対して表示されるデフォルトのデータベース資格情報を受け取ります。
Microsoft SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition		
ローカル	目的の PlateSpin Server に SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition をローカルインストールした後で、PlateSpin Migrate と連携できるように SQL Server を設定する必要があります。詳細については、24 ページの「 ローカル Microsoft SQL Server データベースサーバの設定 」を参照してください。	データベース接続に関するプロンプトが表示されたら、カスタムローカルデータベースサーバを参照します。データベースサーバ名とデータベースインスタンス名が必要です。 (ローカル)\<database_instance_name> 注: Windows 認証を使用する場合、PlateSpin Server をアップグレードまたはアップデートする際に、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利を必要とします。また、データベースサービスユーザとして指定するユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。

場所	インストールと環境設定	データベース接続と資格情報
リモート	既存のリモート SQL Server の場合、PlateSpin Migrate と連携できるように SQL Server を設定し、PlateSpin Migrate と接続できるようにネットワークを設定する必要があります。詳細については、 25 ページの「リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定」 を参照してください。	<p>データベース接続に関するプロンプトが表示されたら、外部データベースサーバを参照します。データベースサーバ名とデータベースインスタンス名が必要です。</p> <pre><database_server>\<database_instance_name></pre> <p>動的ポートを使用する場合は、ポート番号が必要です。</p> <pre><database_server>\<database_instance_name>,<port_number></pre> <p>注：Windows 認証を使用する場合、PlateSpin Server をアップグレードまたはアップデートする際に、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利を必要とします。また、データベースサービスユーザとして指定するユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。</p>

- ◆ [23 ページの「SQL Server Express Edition データベースサーバのインストール」](#)
- ◆ [24 ページの「ローカル Microsoft SQL Server データベースサーバの設定」](#)
- ◆ [25 ページの「リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定」](#)

SQL Server Express Edition データベースサーバのインストール

PlateSpin Migrate と連携するための既存の [Microsoft SQL Server データベースサーバ](#)がない場合は、ご使用の PlateSpin Migrate ソフトウェアの配布パッケージに含まれている Microsoft SQL Server 2017 Express Edition をインストールできます。SQL Server Express インストールにより、SQL 認証が設定されます。

注：PlateSpin Migrate に付属する Microsoft SQL Server Express Edition は、[Microsoft Developer Network](#)にある[推奨事項](#)に従っても、ドメインコントローラにはインストールできません。

Microsoft SQL Server Express をインストールするには：

- 1 PlateSpin Server ホストに管理者の権利を持つユーザとしてログインします。
コンピュータがドメインコンピュータの場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。
- 2 目的のデータベースサーバホストで、Installation Launcher を起動します。
[20 ページの「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」](#)を参照してください。
- 3 [\[SQL Server Express のインストール\]](#) をクリックして、画面の指示に従います。
プログラムは、PlateSpin Migrate の運用に必要なデータベースサーバおよびデータベースインスタンスをインストールします。また、SQL 認証に必要な資格情報も設定します。

注: SQL システム管理者 (sa) ユーザのパスワードは、Microsoft SQL Server Express Edition のインストール時に自動的に生成されます。PlateSpin Migrate Server のインストール全体を通して、デフォルトの sa 資格情報をそのままにします。

インストールが完了し、製品のライセンスを有効化したら、SQL 管理者パスワードを変更する必要があります。詳細については、[33 ページの「SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更」](#)を参照してください。

4 [27 ページの「PlateSpin Server のインストール」](#)に進みます。

ローカル Microsoft SQL Server データベースサーバの設定

目的の PlateSpin Migrate サーバに Microsoft SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition をインストールする場合は、製品をインストールする前に、SQL Server およびご使用の環境で固有の設定を行う必要があります。

注: ご使用の環境でこのローカル SQL Server データベースサーバを使用して他のアプリケーションにサービスを提供すると、PlateSpin Migrate のパフォーマンスが低下する可能性があります。

- 1 サポートされているバージョンの Microsoft SQL Server を目的のデータベースサーバで実行していることを確認します。詳細については、[8 ページの「データベースサーバ」](#)を参照してください。
- 2 目的の PlateSpin Migrate サーバで使用する専用の名前付きデータベースインスタンスが存在することを確認します。
この製品のインストールでは、目的のデータベースサーバの名前およびデータベースインスタンスの名前が必要です。
- 3 (条件付き、Windows 認証) 既存のデータベースサーバの Windows 認証はドメイン環境で利用できます。Windows 認証を使用して Microsoft SQL Server データベースにアクセスする場合は、Active Directory で次のように設定する必要があります。
 - ◆ 該当のドメインに Microsoft SQL Server データベースサーバを追加する必要があります。
 - ◆ PlateSpin Migrate のインストールには、ドメインユーザアカウントが 2 つ必要です。
 - ◆ **sysadmin 役割を設定したドメインユーザ:** SQL 管理者の権利を持つこのユーザは、データベース、テーブル、およびその他のスキーマオブジェクトを作成するために必要です。
 - ◆ **PlateSpin Service ユーザ:** ドメインの中で低い特権を持つドメインユーザをサービスユーザとすることもできますが、そのサービスユーザは、PlateSpin Migrate Server のローカル管理者である必要があります、その許可をインストール前に付与する必要があります。

注: Windows ユーザのパスワードを変更した場合は、PlateSpin Service ユーザと IIS App Pool のパスワードもそれぞれ更新する必要があります。このような状況を避けるには、パスワードが失効しない Windows ユーザの使用を検討します。

注：Windows 認証を使用する場合、PlateSpin Server をアップグレードまたはアップデートする際に、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利を必要とします。また、データベースサービスユーザとして指定するユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。

4 [27 ページの「PlateSpin Server のインストール」](#)に進みます。

リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定

リモート Microsoft SQL Server データベースサーバを使用する場合、製品をインストールする前に、ご使用の環境に固有の設定を行う必要があります。次の各設定により、SQL Server と PlateSpin Server をリモート接続できるようになります。

注：同じリモート Microsoft SQL Server データベースサーバを使用して、複数の PlateSpin Protect サーバと PlateSpin Migrate サーバで使用するデータベースインスタンスをホストできます。それぞれのデータベースインスタンスには固有の名前を指定し、その関連付けられている PlateSpin Server に合わせて、これらのインスタンスを別々に設定する必要があります。

既存の SQL Server を準備するには：

- 1 サポートされているバージョンの Microsoft SQL Server を目的のデータベースサーバで実行していることを確認します。詳細については、[8 ページの「データベースサーバ」](#)を参照してください。
- 2 目的の PlateSpin Migrate サーバで使用する専用の名前付きデータベースインスタンスが存在することを確認します。この製品のインストールでは、目的のデータベースサーバの名前およびデータベースインスタンスの名前が必要です。
- 3 TCP/IP 接続と名前付きパイプ接続の両方を実現できるように Microsoft SQL Server を設定していることを確認します。
- 4 (条件付き、Windows 認証) 既存のデータベースサーバの Windows 認証はドメイン環境で利用できます。Windows 認証を使用して Microsoft SQL Server データベースにアクセスする場合は、Active Directory で次のように設定する必要があります。
 - ◆ 該当のドメインに Microsoft SQL Server データベースサーバを追加する必要があります。
 - ◆ PlateSpin Migrate のインストールには、ドメインユーザアカウントが 2 つ必要です。
 - ◆ **sysadmin 役割を設定したドメインユーザ：**SQL 管理者の権利を持つこのユーザは、データベース、テーブル、およびその他のスキーマオブジェクトを作成するために必要です。
 - ◆ **PlateSpin Service ユーザ：**ドメインの中で低い特権を持つドメインユーザをサービスユーザとすることもできますが、そのサービスユーザは、PlateSpin Migrate Server のローカル管理者である必要があります、その許可をインストール前に付与する必要があります。

注：Windows ユーザのパスワードを変更した場合は、PlateSpin Service ユーザと IIS App Pool のパスワードもそれぞれ更新する必要があります。このような状況を避けるには、パスワードが失効しない Windows ユーザの使用を検討します。

注: Windows 認証を使用する場合、PlateSpin Server をアップグレードまたはアップデートする際に、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利を必要とします。また、データベースサービスユーザとして指定するユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。

- 5 ファイアウォールで次のポートを開いて、リモート SQL Server への認証をサポートします。
- ◆ **ポート 49152 ~ 65535/TCP:** LSA、SAM、Netlogon の RPC トラフィックを許可します。
 - ◆ **ポート 1433/TCP:** Microsoft SQL Server のトラフィックを許可します。
 - ◆ **カスタムポート:** カスタム TCP ポートを使用するように SQL Server を設定する場合は、そのポートをファイアウォール上で開く必要があります。
-

注: ダイナミックポートを使用しない場合は、[データベースサーバ] フィールドで専用ポートを指定する必要があります。

- 6 (条件付き) PlateSpin Migrate で専用ポートを使用する場合は、ファイアウォールでそのポートを開く必要があります。
- 6a データベースサーバ上で、開く必要があるポートを判断します。
- 6a1 SQL Server 構成マネージャで、[SQL Server ネットワークの構成] を展開し、[<ご使用のデータベースインスタンス名>のプロトコル] を選択し、[TCP/IP] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。
- 6a2 [TCP/IP のプロパティ] ダイアログで、[IP アドレス] タブを選択します。
- 6a3 [IPAI] の下に、SQL Server の指定されたデータベースインスタンスが使用しているポートが表示されます。動的ポートの場合は [TCP 動的ポート] に、静的ポートの場合は [TCP ポート] に表示されます。[TCP ポート] または [TCP 動的ポート] が 0 以外の値に設定されている場合は、指定のポートをファイアウォール上で開きます。これらのポートが、SQL Server との接続で使用するポートです。
- たとえば、[TCP 動的ポート] フィールドが 60664、[TCP ポート] フィールドが 1555 にそれぞれ設定されている場合は、SQL Server に対するファイアウォールルールでポート 60664 と 1555 を有効にします。
- 6b これらのポートをファイアウォール上で開きます。
-

注: 動的ポートの値を設定している場合は、インストールまたはアップグレードプロセス中に [参照] をクリックしても、そのサーバが SQL Server のリストに表示されないことがあります。その場合は、PlateSpin Migrate のインストールで表示される [データベースサーバ] 入力フィールドで、そのサーバを手動で指定する必要があります。

たとえば、サーバ名が MYSQLSERVER、データベースインスタンス名が PLATESPINDB、動的ポート用に設定されている専用ポートが 60664 である場合、次のテキストを入力し、目的の認証タイプを選択します。

```
MYSQLSERVER\PLATESPINDB,60664
```

ファイアウォールでポートを開く必要があります。

- 7 [27 ページの「PlateSpin Server のインストール」](#)に進みます。

1.3.3 PlateSpin Server のインストール

- 1 PlateSpin Server をインストールする前に、次の要件を満たしていることを確認してください。
 - ◆ PlateSpin Server ホストが最小システム要件を満たしていること。詳細については、7 ページの「PlateSpin Server のシステム要件」を参照してください。
 - ◆ PlateSpin Server ホストに必要な前提条件ソフトウェアがインストールされていること。詳細については、12 ページの「前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。
 - ◆ PlateSpin Migrate 用のデータベースサーバが使用可能で、専用のデータベースインスタンスがあること。詳細については、22 ページの「データベースサーバのインストール」を参照してください。
- 2 PlateSpin Server ホストに管理者の権利を持つユーザとしてログインします。

サーバがドメインコンピュータの場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。

SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition データベースサーバで Windows 認証を使用する場合は、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利も必要とします。また、SQL Server 資格情報で指定したサービスユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。
- 3 PlateSpin Server ホストで、Installation Launcher を起動します。

20 ページの「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」を参照してください。
- 4 [PlateSpin Server のインストール] をクリックし、画面の指示に従います。
- 5 ソフトウェアの使用許諾契約を読み、[I accept the terms in the license agreement (使用許諾契約の条件に同意します)] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。

製品をインストールする前に、ソフトウェアライセンス合意書を受諾する必要があります。
- 6 一時設定ファイルの場所を指定し、[次へ] をクリックします。
- 7 (データベースサーバ、Windows 認証) (SQL Server Express Edition の代わりに使用する) 既存のデータベースサーバで Windows 認証を使用する場合は、データベース接続を設定し、データベース管理者およびデータベースサービスユーザの適切な資格情報を入力します。

インストール画面	以下を実行します。
データベース接続情報	<ol style="list-style-type: none">1. [参照] をクリックして、[データベースサーバ] を選択します。 <code><database_server>\<database_instance_name></code> 動的ポートを使用する場合は、ポート番号も入力する必要があります。 <code><database_server>\<database_instance_name>,<port_number></code>2. [Authentication Type (認証タイプ)] として Windows 認証を選択します。 Windows 認証は、ドメイン環境でのみサポートされます。3. [次へ] をクリックします。

インストール画面	以下を実行します。
データベース管理者の資格情報	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="685 216 1453 289">1. [データベース管理者] の資格情報を指定します。 次に例を示します。 ダウンレベルのログオンユーザ : <i>CORPDOM\sqladmin</i> パスワード : <i><sqladminPwd></i> 注：ドメイン管理者の資格情報、または十分な管理者およびデータベースの権利を持つドメインユーザの資格情報を指定する必要があります。 <li data-bbox="685 489 1453 552">2. [Validate Credentials (資格情報の検証)] をクリックして、資格情報を検証します。 <li data-bbox="685 562 1453 594">3. [次へ] をクリックします。
データベースユーザの資格情報	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="685 615 1453 972">1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="751 657 1453 762">◆ [Same as the Database Administrator (データベース管理者と同じ)] を選択して、データベースサービスにアクセスするためにデータベース管理者の資格情報を使用します。 <li data-bbox="751 762 1453 972">◆ データベースサービスユーザの資格情報を指定します。 次に例を示します。 ダウンレベルのログオンユーザ : <i>CORPDOM\sqluser1</i> パスワード : <i><sqluser1Pwd></i> サービスユーザはローカル管理者の権利も必要とします。 <li data-bbox="685 982 1453 1045">2. [Validate Credentials (資格情報の検証)] をクリックして、資格情報を検証します。 <li data-bbox="685 1056 1453 1087">3. [次へ] をクリックします。
SQL 接続の確認	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="685 1108 1453 1140">1. 情報を確認します。 <li data-bbox="685 1150 1453 1215">2. [Back (戻る)] をクリックして SQL 接続情報を編集するか、[次へ] をクリックして先に進みます。

- 8 (データベースサーバ、SQL 認証) データベースサーバで SQL 認証を使用する場合は、データベース接続を設定し、データベース管理者の適切な資格情報を入力します。

PlateSpin Migrate に付属する Microsoft SQL Server Express Edition データベースサーバを使用する場合はこのオプションを使用します。インストールにより、SQL システム管理者ユーザ (sa) のパスワードが自動的に生成されますが、それをインストール時に使用します。

注: PlateSpin Server のインストールを完了してライセンスを有効にした後は、カスタムパスワードを設定する必要があります。詳細については、33 ページの「SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更」を参照してください。

インストール画面	以下を実行します。
データベース接続情報	<ol style="list-style-type: none"> 1. [参照] をクリックして、[データベースサーバ] を選択します。 SQL Server Express データベース: ドロップダウンリストの \PLATESPINDB のデフォルト選択肢をそのままにし、次の画面で提案される sa ユーザ資格情報もそのままにします。 注: 後ほど PlateSpin Migrate データベースインスタンスを移動したり、SQL Server パスワードを変更したりする場合は、PlateSpin Migrate データベースの接続設定をリセットする必要があります。 ナレッジベースの記事 7970523 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7970523) を参照してください。 既存のデータベース: 使用可能なデータベースサーバのリストから参照して選択します。 次に例を示します。 <pre>.\PLATESPINDB <database_server>\<database_instance_name> <database_server>\<database_instance_name>,<port_number></pre> 2. [Authentication Type (認証タイプ)] として SQL 認証を選択します。 3. [次へ] をクリックします。
データベース管理者の資格情報	<ol style="list-style-type: none"> 1. SQL 認証用の [データベース管理者] の資格情報を指定します。 SQL Server Express データベースを使用する場合は、デフォルト値をそのままにします。 ログイン ID: sa パスワード: <generated-password-obscured> 2. [Validate Credentials (資格情報の検証)] をクリックして、資格情報を検証します。 3. [次へ] をクリックします。
SQL 接続の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報を確認します。 2. [Back (戻る)] をクリックして SQL 接続情報を編集するか、[次へ] をクリックして先に進みます。

- 9 データベースサーバの資格情報を指定して検証したら、**[次へ]** をクリックします。
- 10 [IIS Configuration (IIS 設定)] 画面で、HTTP 接続と HTTPS 接続のどちらを許可するかを指定します。セキュリティ保護されていない接続 (HTTP) を許可するには、**[Allow unsecured connections (HTTP) (セキュリティ保護されていない接続 (HTTP) を許可する)]** オプションを選択します。

IIS サーバに署名済み SSL 証明書が存在する場合、通信プロトコルはデフォルトで HTTPS になります。ブラウザに untrusted connection 警告メッセージが表示される可能性があります。続行する方法については、ブラウザ固有のドキュメントを参照してください。

- 11 [次へ] をクリックし、インストールの設定を確認します。[インストール] をクリックし、画面プロンプトに従います。

注：PlateSpin Migrate サーバのインストール処理の完了までに、数分かかることがあります。

- 12 (オプション) [Start the Migrate web client (Migrate Web Client の起動)] を選択して、インストールを完了した後、すぐに PlateSpin Migrate Web Client を起動します。

PlateSpin Migrate Web インタフェースを使用してライセンスを有効化することができます。詳細については、『*PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド*』の「Web インタフェースを使用したライセンスのアクティベーション」を参照してください。

- 13 (オプション) 30 ページの「PlateSpin Migrate Client のインストール」に進みます。

1.3.4 PlateSpin Migrate Client のインストール

PlateSpin Migrate Client の場合、次の 2 つのインストールオプションがあります。

- ◆ 30 ページの「Installation Launcher からのクライアントのインストール」
- ◆ 30 ページの「PlateSpin Server からのクライアントのダウンロード」
- ◆ 31 ページの「クライアントの開始とライセンスの有効化」

Installation Launcher からのクライアントのインストール

PlateSpin Server のインストール完了直後に Portability Suite Server と同じホスト上にクライアントをインストールするには、このオプションを使用します。

- 1 Server のインストールを完了させます。
27 ページの「PlateSpin Server のインストール」を参照してください。
- 2 [インストールランチャ] ウィンドウで、[PlateSpin クライアントのインストール] をクリックし、画面の指示に従います。
インストールプログラムは PlateSpin Migrate Client をインストールし、設定し、実行する準備をします。

PlateSpin Server からのクライアントのダウンロード

サーバのインストールが完了した後で、いつでも Web ブラウザを使用して、リモートホスト上でクライアントをインストールするためにこのオプションを使用します。

- 1 PlateSpin Server のインストールを完了します。
27 ページの「PlateSpin Server のインストール」を参照してください。
- 2 目的の PlateSpin Migrate Client ホストが最小システム要件を満たしていることを確認します。
詳細については、9 ページの「PlateSpin Migrate Client のシステム要件」を参照してください。
- 3 目的の PlateSpin Migrate Client ホストで、Web ブラウザを開き、次の URL に移動します。

`http://server_host/platespinmigrate`

`server_host` の部分を、使用している PlateSpin Server ホストの実際のホスト名または IP アドレスで置き換えます。PlateSpin Server がローカルのコンピュータにインストールされる場合は、`server_host` を `localhost` に置き換えます。SSL が有効化されている場合は、URL には `https` プロトコルを使用します。

ブラウザに PlateSpin Server のホームページが表示されます。

- 4 PlateSpin Migrate Client のダウンロードリンクをクリックして PlateSpin Migrate Client ソフトウェアをダウンロードし、画面の指示に従ってそれをインストールします。

クライアントの開始とライセンスの有効化

クライアントを開始するには、**[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[PlateSpin Migrate]** > **[PlateSpin Migrate Client]** の順にクリックします。PlateSpin Migrate Client をインストールして初めて起動する際には、ライセンスウィザードが開き、ソフトウェアのコピーを有効にするよう求めるメッセージが表示されます。製品のライセンスのヘルプについては、「[PlateSpin Migrate 12.2.2 のユーザガイド](#)」の *PlateSpin Migrate 製品のライセンス* を参照してください。

PlateSpin Migrate Web インタフェースを使用してライセンスを有効化することもできます。詳細については、『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[Web インタフェースを使用したライセンスのアクティベーション](#)」を参照してください。

1.4 バッチファイルを使用した PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール

PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントをサイレントインストールするには、次の手順に従います。

- 1 [Micro Focus のダウンロード \(https://www.microfocus.com/support-and-services/download/\)](https://www.microfocus.com/support-and-services/download/) から、`PlateSpinMigrateSetup-12.X.X.X.exe` インストールプログラムをダウンロードして、前提条件のオペレーティングシステムとアプリケーションがインストールおよび設定されている目的の PlateSpin Server ホストに保存します。詳細については、[12 ページのセクション 1.2 「前提条件のソフトウェアのインストール](#)」を参照してください。
- 2 `PlateSpinMigrateSetup-12.x.x.x.exe` をダブルクリックして、好きなフォルダ (例 : `C:\Install`) に内容を展開します。

重要 : `.exe` ファイルの内容をデフォルトのフォルダに展開しないでください。

- 3 ファイルが展開されたら、**[キャンセル]** をクリックしてインストールウィザードを終了します。
- 4 目的のインストールタイプに応じて、次のスクリプトの 1 つをコピーしてバッチファイルに貼り付け、必要に応じてインストールパスを変更した後、バッチファイルを実行します。

- ◆ ローカルの Microsoft SQL Server Express Edition データベースの場合

```
C:\Migrate-12.2.2.X\PlateSpinImage\Server\Install\setup.exe /s /v/qn /v"/I*v c:\install.log" ^
/v"DBINSTALLTYPE=customerinstall" ^
/v"IS_SQLSERVER_SERVER=(local)\PLATESPINDB" ^
/v"IS_SQLSERVER_USERNAME= domain\sqladminUser" ^
```

```

/v"IS_SQLSERVER_USER_USERNAME= domain\sqlServiceUser" ^
/v"IS_SQLSERVER_PASSWORD=sqlauthenticationpwd"

```

- ◆ リモートの Microsoft SQL Server Express Edition データベースの場合

```

C:\Migrate-12.2.2.X\PlateSpinImage\ServerInstall\setup.exe /s /v/qn /v"/!*v c:\install.log" ^
/v"INSTALLDIR=c:\Migrate" ^
/v"DBINSTALLTYPE=remotedb" ^
/v"IS_SQLSERVER_SERVER=BM7W2K12SQL\BM8INSTANCE,59977" ^
/v"IS_SQLSERVER_AUTHENTICATION=0" ^
/v"IS_SQLSERVER_USERNAME= domain\sqladminUser" ^
/v"IS_SQLSERVER_USER_USERNAME= domain\sqlServiceUser" ^
/v"IS_SQLSERVER_USER_PASSWORD=sqlauthenticationpwd"

```

プロパティ	定義
DBINSTALLTYPE	データベースのインストールタイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 埋め込みデータベースの場合： customerInstall ◆ リモートデータベースの場合： remotedb
INSTALLDIR	インストールディレクトリを指定します。例： C:\Program Files\PlateSpin Migrate Server
IS_SQLSERVER_AUTHENTICATION	使用する認証方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows 認証の場合： 0 ◆ SQL 認証の場合： 1
IS_SQLSERVER_SERVER	データベースサーバを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ ローカルデータベースの場合： (local)\PLATESPINDB ◆ リモートデータベースの場合： DatabaseServerName\databaseInstance
IS_SQLSERVER_PASSWORD	データベース管理者のパスワードを指定します。
IS_SQLSERVER_USER_PASSWORD	データベースサービスユーザのパスワードを指定します。
IS_SQLSERVER_USERNAME	データベース管理者のユーザ名を domain\sqladminUser の形式で指定します。
IS_SQLSERVER_USER_USERNAME	データベースサービスのユーザ名を domain\sqlServiceUser の形式で指定します。

1.5 ソフトウェアアップデートの確認

PlateSpin Migrate Client は起動する際に、製品の現在のバージョンが自動的に確認され、[利用可能なアップデート] ダイアログボックス内に利用可能なアップデートが表示されます。

システムが毎回自動的にアップデートを確認しないようにするには：

- 1 [利用可能なアップデート] ダイアログボックス内で、[起動時にアップデートを確認しない] オプションを選択します。
- 2 [OK] をクリックします。

ソフトウェアアップデートの自動チェックを再度有効化するには：

- 1 PlateSpin Migrate Client で、[ツール] > [オプション] の順にクリックします。
- 2 [一般] タブで、[デフォルトに戻す] を選択します。
- 3 [OK] をクリックします。

バージョンのアップデートを手動でチェックするには：

- 1 PlateSpin Migrate Client で、[ヘルプ] > [アップデートの確認] をクリックします。

製品の現在のバージョンが確認され、アップデートが利用可能な場合はそれが表示されます。特定のソフトウェアアップデートまたはホットフィックスをダウンロードするには、提供される URL にアクセスしてください。

1.6 SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更

Microsoft SQL Server Express Edition をインストールした場合は、インストールにより、SQL システム管理者ユーザ (sa) のパスワードが自動的に生成されます。Windows 管理者の資格情報と SQL 管理ツールを使用すれば、この生成されたパスワードを知らなくてもパスワードを変更できます。

注：セキュリティを向上させるために、sa 資格情報のパスワードは、PlateSpin Server のインストールが完了し、製品のライセンスを有効にした後で変更することを強くお勧めします。sa ユーザ用に設定したカスタムパスワードは、今後 PlateSpin Server ソフトウェアにアップグレードを適用する際に入力する必要があります。

Microsoft SQLCMD (sqlcmd) ユーティリティは SQL Server Express ソフトウェアに付属していません。このツールを使用して、SQL Server Express データベースエンジン用の SQL システム管理者パスワードを変更することができます。パスワードを変更した後は PlateSpin Server の情報を更新して、PlateSpin Server サービスを再起動する必要があります。

SQL Server Express の sa ユーザパスワードを変更するには：

- 1 PlateSpin Server ホストにローカル管理者ユーザとしてログインします。
- 2 管理者のコマンドプロンプトを起動します。
- 3 SQL システム管理者パスワードを変更します。以下を入力してください。

```
sqlcmd -S .\PlateSpinDB -E -Q "ALTER LOGIN sa WITH PASSWORD = '{NewPassword}'"
```

この SQLCMD 構文は、-Q オプションに後続するクエリを実行してから SQLCMD ユーティリティを終了します。

注：別のサーバにインストールした場合は、SQL Server Express ホストでコマンドを実行します。

このコマンドは、Microsoft が [sp_password \(Transact-SQL\) ドキュメント](#) で推奨している sp_password ストアドプロシージャではなく、ALTER LOGIN 構文を使用します。

SQLCMD の構文とコマンドについては、Microsoft Web サイトの「[SQLCMD ユーティリティ](#)」を参照してください。

- 4 SQL システム管理者ユーザの新しいパスワードで PlateSpin をアップデートします。以下を入力してください。

```
%PROGRAM FILES%\PlateSpin Migrate
Server"\bin\PlateSpin.UpdateConnectionString.exe /instance=.\PlateSpinDB /
username=sa /password=${NewPassword}
```

- 5 PlateSpin Server サービスを再起動します。以下を入力してください。

```
%PROGRAM FILES%\PlateSpin Migrate
Server\bin\RestartPlateSpinServer\RestartPlateSpinServer.exe
```

1.7 PlateSpin ホストのセキュリティベストプラクティス

企業内におけるその他の Windows サーバの場合と同様に、PlateSpin Server ホストおよび PlateSpin Migrate Client ホストについても、ベストプラクティスとしてセキュリティ脆弱性に対応するパッチを適用する必要があります。

Micro Focus は、サイドチャネル分析の脆弱性を認識しています。これは、CVEs 2017-5715、2017-5753、2017-5754 で説明されており、メルトダウンおよびスペクターと呼ばれています。現在推奨されているアクションは、クラウド内の PlateSpin Server イメージに適用済みです。

PlateSpin Server ホストおよび PlateSpin Migrate Client ホスト用の Windows オペレーティングシステムに対し、Microsoft の推奨に従って、このような脅威に対応するセキュリティ更新を引き続き適用していくことを強くお勧めします。ベンダ固有のドキュメントにその内容が詳述されています。Microsoft サポート Web サイトで「[スペクターとメルトダウンから Windows デバイスを保護する \(https://support.microsoft.com/en-us/help/4073757/protect-your-windows-devices-against-spectre-meltdown\)](https://support.microsoft.com/en-us/help/4073757/protect-your-windows-devices-against-spectre-meltdown)」を参照してください。

2 インストールの問題のトラブルシューティング

- ◆ 35 ページのセクション 2.1 「一般的なインストールの問題および解決法」
- ◆ 36 ページのセクション 2.2 「インストールのトラブルシューティングに関するナレッジベースの記事」
- ◆ 36 ページのセクション 2.3 「PlateSpin ソフトウェアの削除」

2.1 一般的なインストールの問題および解決法

問題またはメッセージ	解決方法
PlateSpin Server をデフォルト以外の場所にインストールしようとすると、予期しないエラーが発生する	PlateSpin Server をデフォルト以外のディレクトリにインストールする場合は、そのディレクトリに対して ASP.NET ユーザアカウントのフルアクセスを許可する必要があります。たとえば、サーバを D:\PPS_9 にインストールする場合、ASP.NET ユーザアカウントが D:\PPS_9 に対してフルアクセスを持っていることを確認する必要があります。
HTTP 403 エラー	PlateSpin Migrate は、Web サービスに対して ASP.NET を使用します。ASP.NET がサーバにインストールされていない場合、Web サービスは正しく機能せず、インストールはこのエラーで失敗します。 ASP.NET は、NET Framework の一部として含まれています。.NET Framework をインストールする際には、IIS は ASP.NET が構成されるサーバ上にすでにインストールされている必要があります。.NET Framework が IIS より前にインストールされている場合は、.NET Framework をアンインストールして、再度インストールします。
http または https で IIS に接続できない ...	インストール中に、PlateSpin Migrate が HTTP または HTTPS で (セットアップが既存の IIS Server で接続を試みた場合) IIS に接続できないことを表すエラーメッセージが表示されます。このエラーの原因は、通常 IIS Server の問題を示します。 <ul style="list-style-type: none">◆ IIS および ASP.NET が正しくインストールされていることを確認する。ナレッジベースの記事 7920595 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7920595) を参照してください。◆ ASP.NET が IIS に正しく登録されていることを確認する。 <pre>"C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\aspnet_regiis.exe" -i</pre> <p>この手順で問題が解決しない場合、の再インストールと IIS 分離モード用の IIS の構成については、ナレッジベースの記事 7920710 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7920710) で詳細を参照してください。</p>

問題またはメッセージ	解決方法
IIS 上で実行する他のアプリケーションを持つコンピュータへの PlateSpin Migrate のインストール	これにより、インストール中およびインストール後に問題が発生することがあります。可能な場合は、IIS 上で実行する他のアプリケーションを持つコンピュータにこの製品をインストールするのを避けます。

2.2 インストールのトラブルシューティングに関するナレッジベースの記事

ID	説明
7920710	エラーメッセージ : Install Error: Cannot connect to IIS with http or https...(インストールエラー : http または https で IIS に接続できない ...)
7920718	情報 : IIS and NTFS Permissions requirements for PlateSpin Migrate (PlateSpin Migrate に対する IIS および NTFS の許可要件)
7920595	情報 : Installing IIS and ASP.NET v2.0 (IIS および ASP.NET v2.0 のインストール)

2.3 PlateSpin ソフトウェアの削除

この処理は、PlateSpin Migrate のソフトウェアコンポーネントをアンインストールするために必要な手順の概要を示し、オプションの手動クリーンアップを実行します。この手順は、アップグレードや以前のバージョンに関する問題からの回復に必要な可能性があります。

ソースワークロードのマイグレーション後のクリーンアップについては、『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[ソースワークロードのマイグレーション後のクリーンアップ](#)」を参照してください。

注 : この手順では、サーバからライセンス情報が削除されることはありません。

- 1 Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Migrate Client をアンインストールします。
- 2 Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Server をアンインストールします。
- 3 (オプション) PlateSpin Migrate のインストールプログラムからローカルデータベースサーバをインストールした状態で、そのデータベースが必要ではなくなった場合、Windows のコントロールパネルを使用して、Microsoft SQL Server Express Edition をアンインストールします。
- 4 PlateSpin Migrate コンポーネントのプログラムディレクトリが削除されていることを確認します。
 - 4a PlateSpin Server のホームディレクトリが削除されていることを確認します。
..\PlateSpin Migrate Server
 - 4b PlateSpin Migrate Client のホームディレクトリが削除されていることを確認します。
..\PlateSpin Migrate Client
 - 4c (オプション) Microsoft SQL Server Express Edition データベースサーバをインストールしている状況からそれをアンインストールする場合は、次のディレクトリを削除します。

..\Program Files\Microsoft SQL Server

警告：別の SQL サーバが PlateSpin Migrate ホストにインストールされている場合は、SQL ディレクトリを削除しないでください。

- 5 IIS マネージャーを開いて、ofxweb および PlateSpinMigrate 仮想ディレクトリが削除されていることを確認します。
- 6 ホストを再起動します。

3 PlateSpin Migrate のアップグレード

PlateSpin Server を PlateSpin Migrate 12.2.2 にアップグレードするには、中間パッチやホットフィックスが適用されているかどうかにかかわらず、Windows Server 2012 R2 で実行されている PlateSpin Migrate 12.2.1 の既存インストールが必要です。他の直接アップグレードはサポートされていません。

注：Windows Server 2008 R2 で実行されている PlateSpin Migrate 12.2.1 の既存インストールからの直接的なアップグレードはサポートされていません。詳細については、[44 ページの「新しいホストプラットフォームへのアップグレード」](#)を参照してください。

- ◆ [39 ページのセクション 3.1「アップグレードのための前提条件」](#)
- ◆ [41 ページのセクション 3.2「アップグレードの準備」](#)
- ◆ [43 ページのセクション 3.3「Migrate のアップグレード」](#)
- ◆ [44 ページのセクション 3.4「新しいホストプラットフォームへのアップグレード」](#)
- ◆ [49 ページのセクション 3.5「アップグレード後のタスク」](#)

3.1 アップグレードのための前提条件

アップグレードを開始する前に、[表 3-1](#)にあるアップグレードの前提条件タスクと準備タスクを実行済みであることを確認します。

表 3-1 PlateSpin Migrate のアップグレードを準備するためのチェックリスト

ステータス	前提条件タスク	備考
<input type="checkbox"/>	1. VM コンテナがサポートされているハイパーバイザを実行していて、コンテナ資格情報がアップグレードプロセス全体にわたって有効であることを確認します。	『 PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド 』の「 サポートされるターゲット仮想化プラットフォーム 」および「 サポートされるターゲットクラウドプラットフォーム 」を参照してください。 詳細については、 42 ページの「ターゲットクラウドコンテナの有効な資格情報の確認」 を参照してください。
<input type="checkbox"/>	2. [診断の実行] を使用して、アップグレード前に実行されるジョブに関する詳細な診断レポートを生成します。アップグレード後に、アップグレード前に実行したジョブに関する診断レポートを作成することはできません。	『 PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド 』の「 診断レポートの生成 」を参照してください。
<input type="checkbox"/>	3. PlateSpin データベースファイルをバックアップします。	詳細については、 42 ページの「アップグレードの前のデータベースファイルのバックアップ」 を参照してください。

ステータス	前提条件タスク	備考
<input type="checkbox"/>	4. カスタム Linux blkwatch ドライバをバックアップします。これらのドライバはアップグレード後に再アップロードする必要があります。	詳細については、42 ページの「アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ」を参照してください。
<input type="checkbox"/>	5. サーバのデフォルト動作を制御するカスタマイズされた PlateSpin 設定 (.config) パラメータを記録します。これらの設定は、アップグレード後に復元する必要があります。	
<input type="checkbox"/>	6. すべてのレプリケーションスケジュールが一時停止され、レプリケーションが実行されていないことを確認します。進行中のレプリケーションが完了するまで待機するか、実行中の操作を中止します。	
<input type="checkbox"/>	7. Migrate Client からログアウトして、アプリケーションを閉じます。	アップグレード中にワークロードとマイグレーションの管理を実行しないでください。
<input type="checkbox"/>	8. Web インタフェースからログアウトして、ブラウザを閉じます。	アップグレード中にワークロードとマイグレーションの管理を実行しないでください。
<input type="checkbox"/>	9. PlateSpin Server ホストがアップグレードバージョンの要件を満たしていることを確認します。	<p>詳細については、7 ページの表 1-1「PlateSpin Server のホスト要件」を参照してください。</p> <p>注：Windows Server 2008 R2 オペレーティングシステムで PlateSpin Migrate を実行している場合は、44 ページの「新しいホストプラットフォームへのアップグレード」のアップグレードパスを使用してください。</p>
<input type="checkbox"/>	10. Microsoft .NET Framework 4.7.1 などの新たに必要な前提条件ソフトウェアをインストールします。	<p>詳細については、9 ページの「必須ソフトウェア」を参照してください。</p> <p>「.NET Framework 4.7.1」を参照してください。</p>
<input type="checkbox"/>	11. PlateSpin Server ホストでユーザアカウント制御 (UAC) を無効にします。	「UAC ガイドライン」を参照してください。

ステータス	前提条件タスク	備考
□	12. ソフトウェアおよびデータベーススキーマをアップデートするために、アップグレード実行者に PlateSpin Server ホストおよびデータベースサーバの十分な管理者の権利があることを確認します。	<p>「資格情報ガイドライン」を参照してください。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ドメインコンピュータ上で実行している PlateSpin Migrate をアップグレードまたはアップデートする場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとして PlateSpin Server にログインする必要があります。 ◆ PlateSpin Migrate Server のアップグレードを実行する際に、データベースサーバで Windows 認証を使用する場合、ソフトウェアのアップグレードを実行してデータベーススキーマをアップデートするには、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとして PlateSpin Server にログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利を必要とします。また、SQL Server 資格情報で指定したサービスユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。 <p>アップグレード中に Windows 認証を選択する場合、データベース管理者用のログインユーザの資格情報が自動的に入力されます。</p>
□	13. PlateSpin Migrate Setup ユーティリティ (PlateSpinMigrateSetup-12.2.2.xxx.exe) ファイルをダウンロードして、それを PlateSpin Server ホストにコピーします。	詳細については、 20 ページの「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」 を参照してください。

3.2 アップグレードの準備

アップグレードの前に、次のタスクを実行して、アップグレード後にデータが使用できることを確認してください。

- ◆ [42 ページのセクション 3.2.1「ターゲットクラウドコンテナの有効な資格情報の確認」](#)
- ◆ [42 ページのセクション 3.2.2「アップグレード前のデータベースファイルのバックアップ」](#)
- ◆ [42 ページのセクション 3.2.3「アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ」](#)

3.2.1 ターゲットクラウドコンテナの有効な資格情報の確認

ターゲットクラウドコンテナの Migrate データベースの資格情報がエクスポートおよびインポート時に有効である必要があります。パスワードは、エクスポート後、およびアップグレード後にインポートが完了するまで、変更したり有効期限切れにならないようにしてください。パスワードの有効期限が迫っている場合は、クラウドプロバイダ環境でパスワードを変更し、エクスポートを開始する前に Migrate で資格情報を更新します。

警告： 資格情報がインポート時に無効の場合は、クラウドコンテナがインポートされず、その関連付けられているワークロード設定がインポートされたデータベースで破損します。ターゲットクラウドコンテナへのマイグレーション用に同じ Migrate サーバを使用するには、PlateSpin Server を再インストールする必要があります。これにより、データベースがリセットされます。すべてのターゲットコンテナとワークロードを再設定する必要があります。

3.2.2 アップグレードの前のデータベースファイルのバックアップ

アップグレード時に、PlateSpin Migrate のインストールプログラムによって既存のデータベースからデータが透過的にエクスポートされ、必要に応じてそのデータが新しいデータベースに再インポートされます。ただし、追加の予防対策として、アップグレード前に PlateSpin Server でデータベースファイルのバックアップをとっておくことを検討してください。

- 1 PlateSpin Migrate Server ホストマシンに管理者ユーザとしてログインします。
- 2 サーバホスト上で、MS SQL サービスを停止します。
 - 2a [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力し、[OK] をクリックします。
 - 2b [サービス] ウィンドウで [SQL Server] 項目を右クリックし、[停止] を選択します。
- 3 すべての *.mdf ファイルと *.ldf ファイルを、製品インストールディレクトリ外の場所にコピーします。これらのファイルのデフォルト場所は次のとおりです。
\\Program Files\PlateSpin Migrate Server\Database
- 4 **ステップ 2** で停止した MS SQL サービスを再起動します。

「[アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ](#)」に進むか、[43 ページの「Migrate のアップグレード」](#)の説明に従ってアップグレードを続行します。

3.2.3 アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ

アップグレード時に、PlateSpin Migrate インストールプログラムは PlateSpin Migrate に以前に追加されたカスタム Linux blkwatch ドライバを上書きします。アップグレード前に、カスタム Linux blkwatch ドライバのコピーを保存しておくことを検討してください。

- 1 PlateSpin Migrate Server ホストマシンに管理者ユーザとしてログインします。
- 2 C:\Program Files\PlateSpin Migrate Server\ などの PlateSpin アプリケーションのインストールディレクトリに移動します。
- 3 .\Packages\9D470BFF-E30F-4015-83D8-4D308A8C8B1B\ フォルダを開いて、このフォルダの 1.package ファイルを一時ディレクトリにコピーします。

- 4 1.package を .zip ファイル拡張子で名前変更し (1.zip)、そのファイルのコンテンツをこの一時ディレクトリに抽出します。
- 5 CustomKernel* の内容を別の一時ロケーションに保存します。

43 ページの「[Migrate のアップグレード](#)」の説明に従って、アップグレードを続行します。

アップグレード後、今後のマイグレーションに必要なカスタム Linux blkwatch ドライバを再アップロードする必要があります。[ナレッジベースの記事 7005873 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873\)](https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873) を参照してください。

3.3 Migrate のアップグレード

- 1 アップグレードを試みる前に、前提条件を満たしていることと、準備タスクを実行していることを確認します。
 - ◆ [39 ページの「アップグレードのための前提条件」](#)
 - ◆ [41 ページの「アップグレードの準備」](#)
- 2 PlateSpin Migrate Server ホストに管理者ユーザとしてログインします。

サーバがドメイン内にある場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。

データベースサーバで Windows 認証を使用する場合、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザは PlateSpin Server へのローカル管理者の権利を必要とします。
- 3 (条件付き) PlateSpin Migrate Client が PlateSpin Server ホストにインストールされる場合、Windows コントロールパネルを使用して、クライアントアプリケーションをアンインストールします。
- 4 サーバホストで、インストールランチャを起動します。

詳細については、[20 ページの「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」](#) を参照してください。
- 5 **[Install Migrate Server (Migrate Server のインストール)]** をクリックし、画面の指示に従います。
- 6 データベースインスタンスの指定を求めるプロンプトが表示されたら、インストールプログラムで既存のデータベースインスタンスを参照し、適切な認証タイプと資格情報を入力します。
 - ◆ データベースサーバでの Windows 認証の場合、データベースのスキーマをアップグレードするために、ログインユーザにローカル管理者の権利とデータベースサーバへのシステム管理者の権利があることを確認します。サービスユーザとして指定するユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。
 - ◆ SQL Server Express Edition データベースサーバへの SQL 認証の場合、SQL システム管理者 (sa) ユーザおよびデフォルトの生成されたパスワード (SQL Server Express をインストールしたときに作成済み) が、データベース管理者のログイン ID およびパスワード用に自動的に入力されます。sa ユーザのカスタムパスワードを以前に設定している場合は、**[Validate Credentials (資格情報の検証)]** をクリックする前に、カスタムパスワードを入力します。
- 7 (オプション) PlateSpin Migrate Client の現在のバージョンを PlateSpin Server ホスト上にインストールします。

詳細については、[30 ページの「PlateSpin Migrate Client のインストール」](#) を参照してください。

- 8 (オプション) アップグレード後、今後のマイグレーションに必要なカスタム Linux blkwatch ドライバを再アップロードする必要があります。[ナレッジベースの記事 7005873 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873\)](https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873) を参照してください。
- 42 ページの「アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ」も参照してください。

3.4 新しいホストプラットフォームへのアップグレード

次のシナリオで、既存の PlateSpin Server を新しいホストプラットフォームにアップグレードできません。

- 現在はサポートされていない Windows Server 2008 R2 で実行中の PlateSpin Migrate 12.2.1 サーバをサポートされている Windows Server プラットフォームにアップグレードする。
- PlateSpin Migrate 12.2.1 サーバを新たにサポートされた Windows Server 2016 プラットフォームにアップグレードする。

このセクションの情報を使用して、置換用 PlateSpin Server ホストを準備し、PlateSpin Migrate を再インストールします。アップグレード前にデータベースをエクスポートして、それを後で新しいデータベースインスタンスにインポートします。

- 44 ページのセクション 3.4.1 「新しいプラットフォームへのアップグレード準備」
- 45 ページのセクション 3.4.2 「データベースのエクスポート」
- 46 ページのセクション 3.4.3 「現在の PlateSpin サーバホストで使用しているプラットフォームのアップグレード」
- 47 ページのセクション 3.4.4 「置換用 PlateSpin Server ホストへのアップグレード」
- 49 ページのセクション 3.4.5 「データベースのインポート」

3.4.1 新しいプラットフォームへのアップグレード準備

アップグレード前に、新しいプラットフォームへのアップグレードのための前提条件を満たしていることを確認します。

- 置換用サーバへの移動に備えて現在の PlateSpin Migrate サーバのアクティベーションコードとライセンスをリセットする場合は、Micro Focus のサポートに問い合わせてください。ライセンスがリセットされたら、新しいプラットフォームに移動する準備が整ったことを確認します。
- [診断の実行] を使用して、アップグレード前に実行されるジョブに関する詳細な診断レポートを生成します。アップグレード後に、アップグレード前に実行したジョブに関する診断レポートを作成することはできません。『*PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド*』の「[診断レポートの生成](#)」を参照してください。
- 今後のマイグレーションに必要なカスタム blkwatch ドライバをバックアップします。
詳細については、42 ページの「アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ」を参照してください。
- データベースをエクスポートします。詳細については、45 ページのセクション 3.4.2 「データベースのエクスポート」を参照してください。

新しいプラットフォーム上で PlateSpin Server をアップグレードした後で、エクスポートした XML ファイルをインポートに利用可能な場所にコピーしてください。

3.4.2 データベースのエクスポート

古いサーバを無効にする前に、ワークロードマイグレーションデータベースをエクスポートします。

1 次の手順でデータベースのエクスポートを準備します。

1a Migrate Client と Migrate Web インタフェースを使用して、すべてのレプリケーションスケジュールが一時停止され、レプリケーションが実行されていないことを確認します。進行中のレプリケーションが完了するまで待機するか、実行中の操作を中止します。

1b Migrate Client からログアウトして、アプリケーションを閉じます。

1c Migrate Web インタフェースからログアウトしてから、ブラウザを閉じます。

2 次の手順でデータベースをエクスポートします。

2a PlateSpin Server ホストに管理者ユーザとしてログインします。

サーバがドメイン内にある場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。

2b コマンドプロンプトを開きます。

ImportExportAll.bat ユーティリティを実行するプロセスには昇格権限が必要です。そのため最も簡単な方法は、**[管理者として実行]** コンテキストメニューオプションを使用してコマンドウィンドウを起動することです。

2c インポート / エクスポートユーティリティ (ImportExportAll.bat) を含むディレクトリに移動します。

```
C:\Program Files\PlateSpin Migrate Server\PlateSpin Forge\bin\ImportExport
```

2d 指定されたディレクトリにデータをエクスポートします。以下を入力してください。

```
ImportExportAll.bat /export "C:\temp"
```

ステップ 1a に沿ってジョブを停止し、スケジュールを一時停止しているので実行中のジョブがないにもかかわらず、ジョブが実行されていることが原因でエクスポートが失敗した場合、/force スイッチを使用してコマンドを再発行し、エクスポートを強制します。以下を入力してください。

```
ImportExportAll.bat /export "C:\temp" /force
```

3 新しいプラットフォーム上に PlateSpin Server を設定した後で、エクスポートした XML ファイルをインポートに利用可能な場所にコピーします。

4 新しい置換プラットフォームにアップグレードするために、次のパスのいずれかに進みます。

- ◆ [46 ページの「現在の PlateSpin サーバホストで使用しているプラットフォームのアップグレード」](#)
- ◆ [47 ページの「置換用 PlateSpin Server ホストへのアップグレード」](#)

3.4.3 現在の PlateSpin サーバホストで使用しているプラットフォームのアップグレード

このアップグレードパスでは、現在の PlateSpin サーバホストのプラットフォームをアップグレードします。アップグレード済みの前提条件の OS およびソフトウェアをインストールおよび設定する際に、インストール済みの PlateSpin コンポーネントを削除する必要があります。[データベースをエクスポート](#)すると、現在の PlateSpin Server ホストの前提条件のソフトウェアおよびオペレーティングシステムをアップグレードする準備が整います。

- 1 現在の PlateSpin Server ホストに管理者ユーザとしてログインします。
サーバがドメイン内にある場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。
- 2 インストール済みの PlateSpin Migrate コンポーネントを削除します。
 - 2a Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Migrate Client をアンインストールします。
 - 2b Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Migrate をアンインストールします。
 - 2c (条件付き) SQL Server Express Edition が PlateSpin Server ホストにインストールされている場合、Windows のコントロールパネルを使用してアンインストールします。
- 3 PlateSpin Server ホストで、サポートされている Windows Server オペレーティングシステムにアップグレードし、そのプラットフォームに必要な機能および設定を設定します。
[オペレーティングシステムおよび前提条件のソフトウェアのインストール](#)を参照してください。
- 4 PlateSpin Server ホストのすべての前提条件ソフトウェアを確実にインストールおよび再設定します。
[必須ソフトウェアおよび前提条件のソフトウェアのインストール](#)を参照してください。
- 5 再設定された PlateSpin Server ホストと連携するためにデータベースサーバを準備します。
詳細については、[データベースサーバのインストール](#)を参照してください。
SQL Server Express Edition を使用している場合は、現在のバージョンをインストールします。アップグレードが完了し、製品ライセンスが再度有効化された後で、再インストールされた SQL Server Express データベースサーバ用のセキュアなカスタムパスワードを設定する必要があります。詳細については、[33 ページの「SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更」](#)を参照してください。
Microsoft SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition を使用している場合、新しいデータベースインスタンスを作成し、アップグレードしたプラットフォームと連携できるように設定していることを確認します。アップグレードが完了した後で、この新しいデータベースインスタンスにデータベースをインポートします。
- 6 PlateSpin Server ホストに管理者の権利を持つユーザとしてログインします。
サーバがドメインコンピュータの場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。
SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition データベースサーバで Windows 認証を使用する場合は、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利も必要とします。また、SQL Server 資格情報で指定したサービスユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。

- 7 最新の PlateSpin Migrate Server をインストールします。詳細については、[PlateSpin Server のインストール](#)を参照してください。
- 8 (オプション) 最新の PlateSpin Migrate Client をインストールします。詳細については、[PlateSpin Migrate Client のインストール](#)を参照してください。
- 9 アップグレードする前に、Micro Focus のサポートから取得したリセット用アクティベーションコードを使用して、PlateSpin Server ホストのライセンスを有効にします。
『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[製品ライセンスの有効化](#)」を参照してください。
- 10 エクスポートされたデータベースを新しいデータベースインスタンスにインポートします。詳細については、[49 ページの「データベースのインポート」](#)を参照してください。
- 11 (オプション) 置換用サーバにその他のリセットまたは再有効化ライセンスを追加します。
『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[ワークロードマイグレーションで使用するライセンスキーの管理](#)」を参照してください。
- 12 (オプション) アップグレード後、今後のマイグレーションに必要なカスタム Linux blkwatch ドライバを再アップロードする必要があります。[ナレッジベースの記事 7005873 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873\)](#) を参照してください。
[42 ページの「アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ」](#)も参照してください。
- 13 (条件付き) 以前の PlateSpin Server ホストとともに Microsoft SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition データベースサーバを使用している場合は、その PlateSpin Server ホストに関連付けられている不要のデータベースインスタンスを削除します。

3.4.4 置換用 PlateSpin Server ホストへのアップグレード

このアップグレードパスでは、置換用 PlateSpin Server ホストを設定してから、現在の PlateSpin Server ホストを廃止します。アップグレードされた前提条件の OS とソフトウェアを新しいマシン上にインストールおよび設定するときは、以前のホスト上のあらゆるマイグレーションサービスを停止する必要があります。[データベースをエクスポート](#)すると、前提条件のソフトウェアおよびオペレーティングシステムとともに置換用 PlateSpin Server ホストをセットアップする準備が整います。

- 1 新たに使用予定の PlateSpin Server ホストで、サポートされている Windows オペレーティングシステムをインストールし、そのプラットフォームに必要な機能および設定を設定します。
[オペレーティングシステムおよび前提条件のソフトウェアのインストール](#)を参照してください。
- 2 すべての前提条件ソフトウェアをインストールして設定してください。詳細については、[9 ページの「必須ソフトウェア」](#)を参照してください。
- 3 新しい PlateSpin Server ホストと連携するようにデータベースサーバを準備します。詳細については、[データベースサーバのインストール](#)を参照してください。

SQL Server Express Edition を使用している場合は、現在のバージョンをインストールします。アップグレードが完了し、製品ライセンスが再度有効化された後で、再インストールされた SQL Server Express データベースサーバ用のセキュアなカスタムパスワードを設定する必要があります。詳細については、[33 ページのセクション 1.6「SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更」](#)を参照してください。

Microsoft SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition を使用している場合は、新しいデータベースインスタンスを作成します。アップグレードが完了した後で、この新しいデータベースインスタンスにデータベースをインポートします。

- 4 置換用 PlateSpin Server ホストに管理者の権利を持つユーザとしてログインします。

サーバがドメインコンピュータの場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。

SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition データベースサーバで Windows 認証を使用する場合は、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。このユーザはローカル管理者の権利も必要とします。また、SQL Server 資格情報で指定したサービスユーザも、ローカル管理者の権利を必要とします。
- 5 最新の PlateSpin Migrate Server をインストールします。詳細については、[PlateSpin Server のインストール](#)を参照してください。
- 6 (オプション) 最新の PlateSpin Migrate Client をインストールします。詳細については、[PlateSpin Migrate Client のインストール](#)を参照してください。
- 7 アップグレードする前に、Micro Focus のサポートから取得したリセット用アクティベーションコードを使用して、置換用 PlateSpin Server ホストのライセンスを有効にします。

『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[製品ライセンスの有効化](#)」を参照してください。
- 8 エクスポートされたデータベースを新しいデータベースインスタンスにインポートします。詳細については、[49 ページのセクション 3.4.5 「データベースのインポート」](#)を参照してください。
- 9 (オプション) 置換用サーバにその他のリセットまたは再有効化ライセンスを追加します。

『[PlateSpin Migrate 12.2.2 ユーザガイド](#)』の「[ワークロードマイグレーションで使用するライセンスキーの管理](#)」を参照してください。
- 10 (オプション) アップグレード後、今後のマイグレーションに必要なカスタム Linux blkwatch ドライバを再アップロードする必要があります。[ナレッジベースの記事 7005873 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873\)](#) を参照してください。

[42 ページの「アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ」](#)も参照してください。
- 11 以前の PlateSpin Server ホストから PlateSpin Migrate コンポーネントを削除し、PlateSpin サーバとして廃止します。
 - 11a 以前の PlateSpin Server ホストに管理者ユーザとしてログインします。

サーバがドメイン内にある場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。
 - 11b Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Migrate Client をアンインストールします。
 - 11c Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Migrate をアンインストールします。
 - 11d (条件付き) SQL Server Express Edition が以前の PlateSpin Server ホストにインストールされている場合は、Windows のコントロールパネルを使用してアンインストールします。
- 12 (条件付き) 以前の PlateSpin Server ホストとともに Microsoft SQL Server Standard Edition または Enterprise Edition データベースサーバを使用している場合は、その PlateSpin Server ホストに関連付けられている不要のデータベースインスタンスを削除します。

3.4.5 データベースのインポート

アップグレードされた PlateSpin Server ホストの準備ができたなら、アップグレード済み PlateSpin Server と連携する新しいデータベースインスタンスにデータをインポートします。

- 1 PlateSpin Server ホストに管理者ユーザとしてログインします。
サーバがドメイン内にある場合、ドメイン管理者グループおよびローカル管理者グループのメンバーであるドメインユーザとしてログインする必要があります。
- 2 エクスポートされた XML ファイルを PlateSpin Server ホスト上の C:\temp にコピーします。
- 3 コマンドプロンプトを開きます。
ImportExportAll.bat ユーティリティを実行するプロセスには昇格権限が必要です。そのための最も簡単な方法は、**[管理者として実行]** コンテキストメニューオプションを使用してコマンドウィンドウを起動することです。
- 4 インポート / エクスポートユーティリティ (ImportExportAll.bat) を含むディレクトリに移動します。
C:\Program Files\PlateSpin Migrate Server\PlateSpin Forge\bin\ImportExport
- 5 指定されたディレクトリからデータをインポートします。以下を入力してください。
ImportExportAll.bat /import "C:\temp"
- 6 インポートが完了した後で、Migrate Web インタフェースおよび Migrate Client に接続して、データに損傷がないことを確認します。
- 7 レプリケーションを再開します。

3.5 アップグレード後のタスク

PlateSpin Migrate ソフトウェアのアップグレード後、次のタスクを実行して、PlateSpin Server の通常動作を再開する必要があります。

- 1 次の場所から、PlateSpin 環境設定の必要な設定を適用します。
https://Your_PlateSpin_Server/platespinconfiguration/
- 2 アップグレードされた PlateSpin Server に、ワークロード用のコンパイル済みの blkwatch ドライバが存在することを確認します。『ユーザガイド』の「[Migrate によってサポートされている Linux ディストリビューション](#)」を参照してください。
42 ページの「[アップグレード前のカスタム Linux blkwatch ドライバのバックアップ](#)」に従ってアップグレード前にバックアップした、今後のマイグレーションに必要なカスタム Linux blkwatch ドライバを再アップロードする必要があります。
コンパイル済みのドライバがない場合は、[ナレッジベースの記事 7005873 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873\)](https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873) の手順に従って、カスタム blkwatch ドライバを作成できます。
- 3 スケジュール / 一時停止したレプリケーションおよびマイグレーションジョブをすべて再開します。
- 4 PlateSpin Server とレプリケーションが正常に機能していることを確認します。

- 5 (オプション、推奨) SQL システム管理者ユーザ (sa) のカスタムパスワードを以前に設定していない場合は、今回セキュアなパスワードを設定することを検討してください。

詳細については、[33 ページの「SQL Server Express システム管理者ユーザのパスワード変更」](#)を参照してください。